

2018年3月期 第1四半期 決算補足資料

2017年7月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（連結）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（連結）
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2018年3月期計画

連結業績予想

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比**6.1%**減少
- ・資金調達環境は良好な状態を維持
- ・倒産状況については、大型倒産が発生した影響に伴い、負債総額が前年同期比**44.4%**増加、件数についても**7.1%**の増加

【営業実績】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高・成約高共に前年同期比増加となる
- ・ファイナンス事業については前年同期比減少

＜賃貸・割賦事業＞ ※括弧内は単独ベース

契約実行高： **8.9%増** (**8.2%増**) 成約高： **9.4%増** (**8.8%増**)

＜ファイナンス事業＞

契約実行高： **3.0%減** (**1.4%減**) 成約高： **3.4%減** (**1.8%減**)

【経営成績】

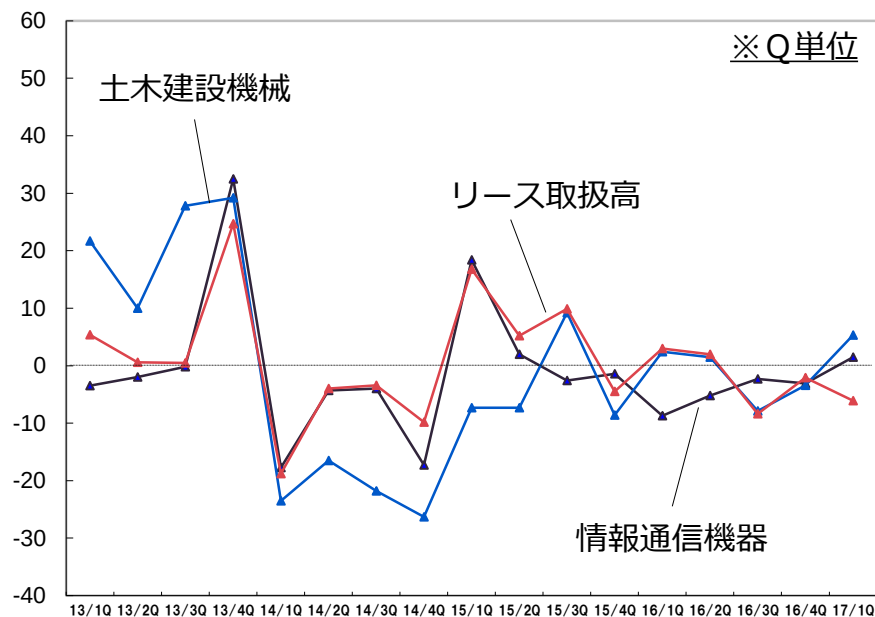
- ・売上高は、リサ事業ファンドにおける有価証券売却収益等に伴い大幅増加
- ・営業利益、経常利益、四半期純利益についても増益

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

2) 事業環境

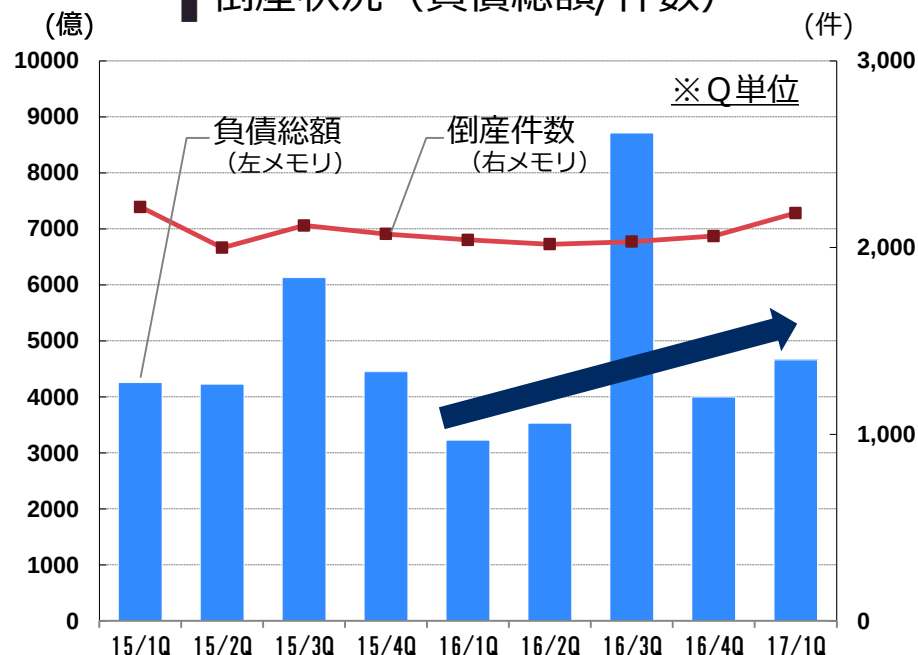
- リース取扱高：当社の主力である情報通信機器は前年同期比**1.5%**の増加
業界全体のリース取扱高については前年同期比**6.1%**の減少
- 倒産状況：17年6月期における倒産件数については前年同期比増
負債総額も大型倒産が発生したことで前年比増加となる

■ リース取扱高動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

3) 業績概要（連結）

- ・売上高 : ファンドにおける有価証券売却収益等があったリサ事業の増収により前年同期比**29.4%**の増加
- ・経常利益 : リサ事業に加え、貸付収益の好調により前年同期比**167.4%**の増加
- ・自己資本比率 : 9.3% (16/6末) → 9.5% (17/6末)

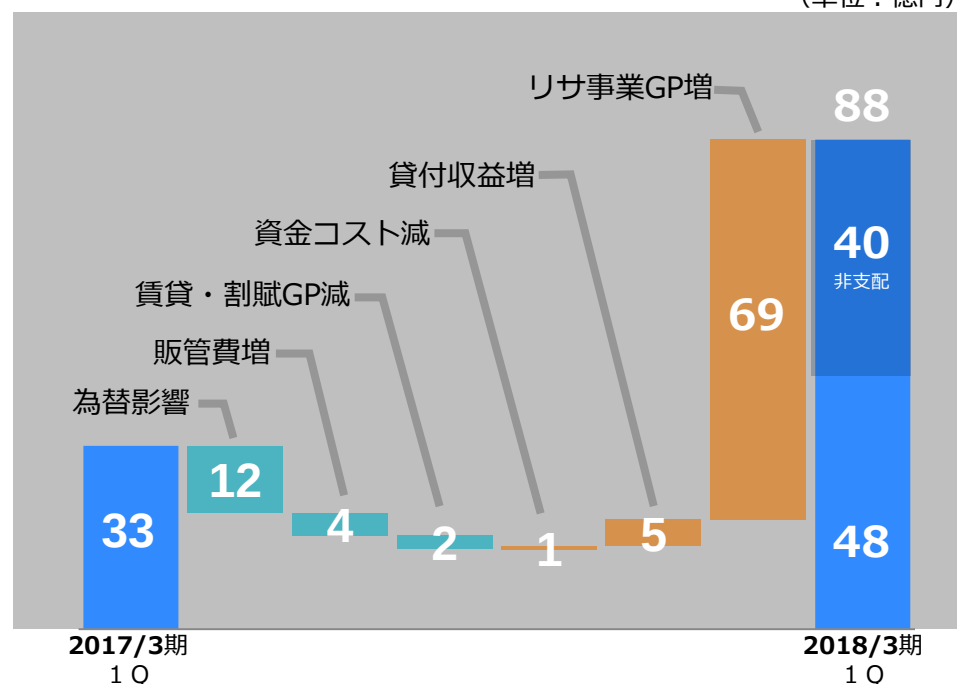
業績数値

(単位：億円)

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
売上高	488	631	29.4%
営業利益	22	89	307.4%
経常利益	33	88	167.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	23	36	56.7%
1株当たり四半期純利益	106円61銭	167円02銭	—
営業資産残高	7,573	7,778	2.7%
純資産	1,030	1,053	2.2%
自己資本	780	823	5.5%
自己資本比率 (%)	9.3	9.5	0.2
1株当たり配当金 (円)	22	22	—

経常利益前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

（単位：億円）

		2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
貸貸・ 割賦事業	売上高	419	408	▲2.5%
	売上総利益	30	29	▲5.7%
	営業利益	16	16	1.1%
ファイナンス 事業	売上高	11	16	43.6%
	売上総利益	8	13	51.7%
	営業利益	6	6	4.2%
リサ 事業	売上高	30	112	274.0%
	売上総利益	12	81	563.6%
	営業利益	4	70	1756.8%
その他の 事業	売上高	28	95	237.0%
	売上総利益	6	7	5.4%
	営業利益	1	2	122.3%
計	売上高	488	631	29.4%
	売上総利益	57	129	124.8%
	営業利益	22	89	307.4%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<貸貸・割賦事業>>

- ・売上高は前年同期比**2.5%**減
営業利益については、貸倒引当金戻入額の計上等により、前年同期比微増

<<ファイナンス事業>>

- ・売上高は配当収益増加等により前年同期比**43.6%**増
営業利益については、貸倒引当金繰入額の増加等があったものの、前年同期比**4.2%**増

<<リサ事業>>

- ・ファンドにおける有価証券売却収益等があったことから、売上高は前年同期比**274%**増、営業利益については前年同期比**66億円**の増

<<その他の事業>>

- ・売上高は、満了解約売上や商品売上があったことから、前年同期比**237%**増
営業利益については前年同期比**122.3%**増

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況（連結）

事業別契約実行高

（単位：億円）

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	268	292	8.9%
貸貸事業	259	280	8.4%
割賦販売	10	12	22.9%
ファイナンス事業	1,047	1,015	▲3.0%
営業貸付金	816	806	▲1.2%
一括ファクタリング	231	209	▲9.4%
その他の事業	6	36	480.0%
計	1,322	1,344	1.7%

事業別成約高

（単位：億円）

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	304	333	9.4%
貸貸事業	299	331	10.9%
割賦販売	6	2	▲67.0%
ファイナンス事業	1,039	1,004	▲3.4%
営業貸付金	809	795	▲1.7%
一括ファクタリング	231	209	▲9.4%
その他の事業	4	35	908.3%
計	1,347	1,372	1.8%

《契約実行高・成約高》

- ・ 貸貸・割賦事業については、官公庁領域が順調に推移したことで前年同期比改善
ファイナンス事業では、前年同期に大型案件のあった個別ファクタリングの落ち込みにより前年同期比微減
- ・ 全体で契約実行高は**1.7%**、成約高は**1.8%**の増加

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
官公庁	113	141	25.0%
民需	155	151	▲2.9%
サービス業	46	50	10.5%
流通業	31	45	44.6%
製造業	53	30	▲43.4%
その他	26	26	▲0.0%
計	268	292	8.9%

業種別成約高

（単位：億円）

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
官公庁	193	235	21.4%
民需	111	98	▲11.4%
サービス業	29	22	▲24.9%
流通業	30	40	34.5%
製造業	35	21	▲38.7%
その他	17	15	▲13.8%
計	304	333	9.4%

（参考）機種別賃貸事業契約実行高

（単位：億円）

	2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	175	211	20.3%
電子計算機及び関連装置	73	78	6.9%
ソフトウェア	97	127	30.7%
通信機器及び関連装置	6	7	16.2%
事務用機器	13	21	66.3%
その他機器	80	60	▲25.3%
計	268	292	8.9%

・業種別の契約実行高は、民需領域において前年大型案件の計上があったために前年同期比減

一方で、官公庁領域が堅調に推移したことで、全体では、前年同期比 **8.9%増**

・成約高についても、民需領域の落ち込みを官公庁領域がカバーし、全体では、前年同期比 **9.4%増**

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況（連結）

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

		2017/3期	2018/3期	
		1Q	1Q	前年同期比
	立替・APF・割賦バック	17	35	101.0%
	個別ファクタリング	522	496	▲4.9%
	企業融資	258	248	▲4.1%
	その他	19	28	46.4%
	計	816	806	▲1.2%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

		2017/3期	2018/3期	
		1Q	1Q	前年同期比
官公庁		0	14	-
民需		816	792	▲2.9%
	サービス業	43	74	71.8%
	流通業	22	52	142.9%
	製造業	571	517	▲9.4%
	金融業・保険業	39	25	▲35.5%
	不動産業	90	32	▲64.6%
	その他	52	92	76.1%
計		816	806	▲1.2%

- ・ 契約形態別の契約実行高においては、個別ファクタリング、企業融資において前年同期比減少
ファイナンス事業全体でも前年同期比**1.2%**減少
- ・ 業種別では、不動産業及び金融業・保険業で前年同期に大型案件があったことから、前年同期比減少

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2017/3期 1Q	2018/3期 1Q	前年同期比
アセットビジネス	売上高	10	105	945.3%
	売上総利益	9	75	704.5%
	営業利益	6	70	1,144.9%
不動産	売上高	18	5	▲70.9%
	売上総利益	2	4	161.5%
	営業利益	1	2	173.1%
アドバイザリー	売上高	2	2	▲10.4%
	売上総利益	2	1	▲3.2%
	営業利益	0	▲0	-
のれん他	売上高	▲0	0	-
	売上総利益	▲0	0	-
	営業利益	▲3	▲2	-
連結ベース 計	売上高	30	112	274.0%
	売上総利益	12	81	563.6%
	営業利益	4	70	1,756.8%

**売上高、売上総利益、営業利益は
それぞれ前年同期比大幅増収・増益**

<<アセットビジネス>>

- ・ファンドにおいて大型の投資有価証券売却があったことにより大幅な増収・増益

<<不動産>>

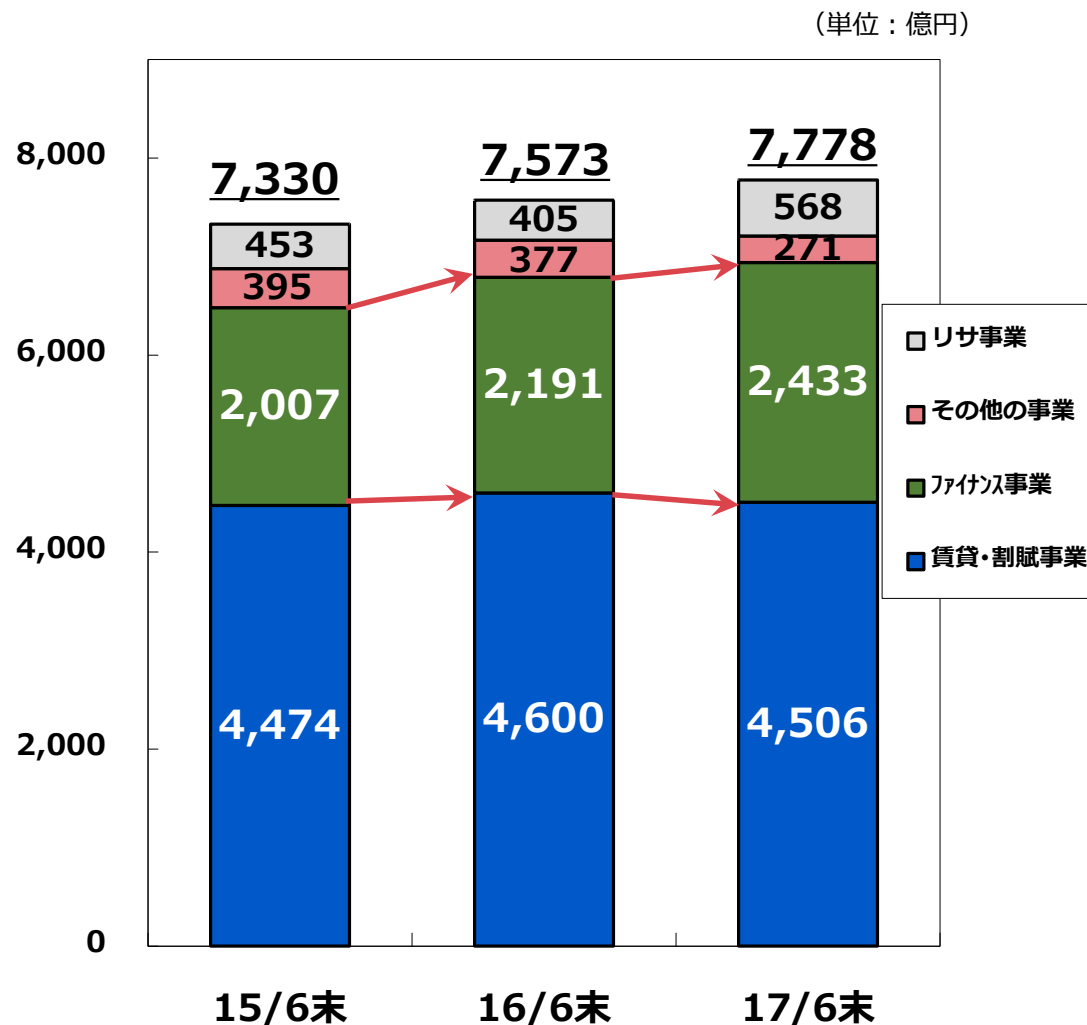
- ・売上高は減収となるものの不動産関連の手数料収入の拡大により増益

<<アドバイザリー>>

- ・ほぼ前年並みの収益を確保

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況（連結）



<<営業資産残高>>

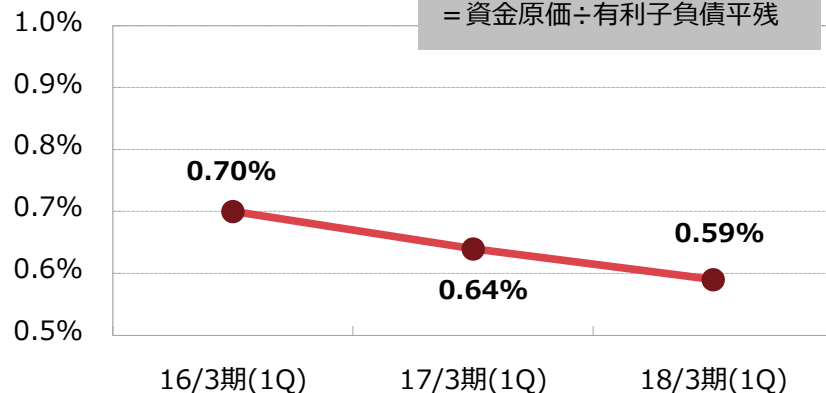
- ・ 貸貸・割賦事業の残高は、前年同期比**94億円**の減少
- ・ ファイナンス事業の残高は、前年同期比**242億円**増加
⇒ 民需ラインにおいて新規取扱が伸長したこと、またグローバル事業が順調に展開していることにより増加
- ・ リサ事業の残高は、前年同期比**163億円**の増加
⇒ ファンドビジネスの進捗等により増加

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

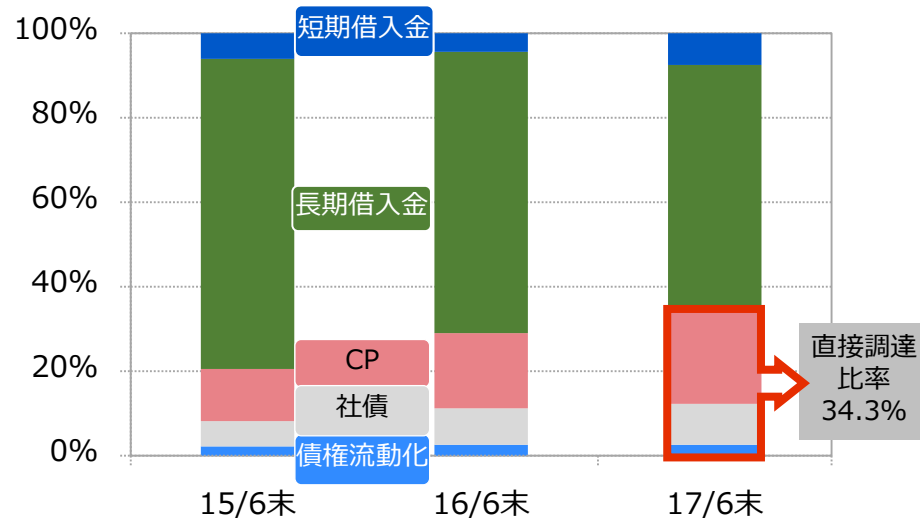
10) 資金調達状況（連結）

資金原価率

資金原価率 (%)
= 資金原価 ÷ 有利子負債平残



有利子負債構成比



有利子負債残高

(単位：億円)

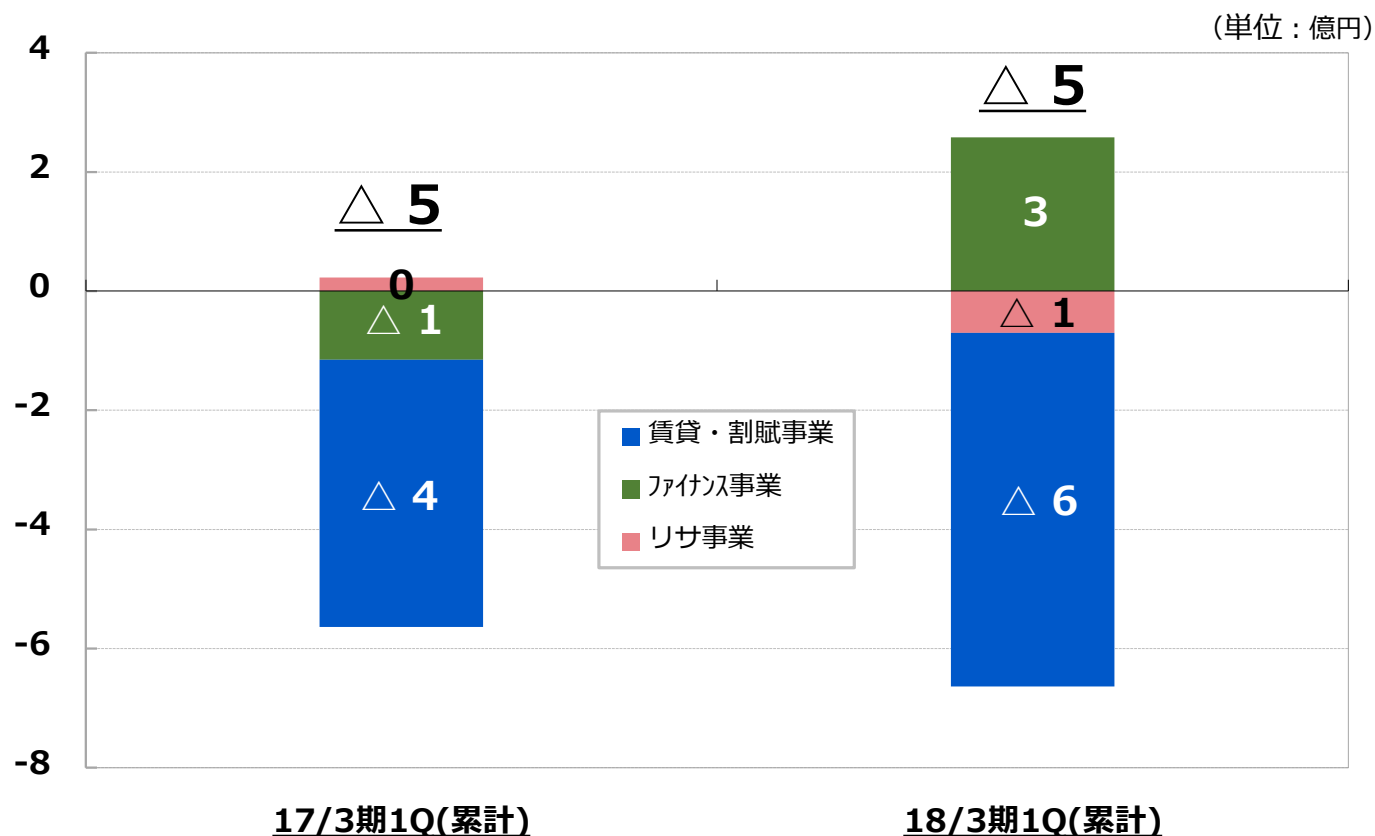
	2017/3期		2018/3期		
	1Q末	構成比	1Q末	構成比	増減
短期借入金	307	4.4%	542	7.5%	235
長期借入金	4,630	66.6%	4,174	58.2%	▲457
CP	1,240	17.8%	1,580	22.0%	340
社債	600	8.6%	700	9.8%	100
債権流動化	179	2.6%	182	2.5%	2
計	6,956	100.0%	7,177	100.0%	221

- 資金原価率は**0.59%**と前年同期比**0.05ポイント**減
⇒長期借入のCPシフト、短期市場金利の低位推移等、各種施策により減少
- 直接調達比率は上昇
(2016/6末 **29.0%** → 2017/6末 **34.3%**)
⇒CP積上げにより上昇

1. 2018年3月期 第1四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

- ・与信関連費用は、前年に続き戻入益の計上により、前年同等の水準。



2. 2018年3月期計画

2. 2018年3月期計画

1) 連結業績予想

連結業績予想

(単位：億円)

	実績	予想		当初予想
	2018/3期 第1四半期	2018/3期 第2四半期（累計）	2018/3期 通期	2018/3期 通期
売上高	631	1,100	2,100	2,000
営業利益	89	100	110	75
経常利益	88	100	110	75
親会社株主に帰属する純利益	36	40	45	35
1株当たり純利益（円）	167円02銭	185円76銭	208円98銭	162円54銭

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2018/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2017/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC